

■ HRD FINE ART 展覧会開催のご案内 ■

田中 加織 個展

流れ／その先に

- 会 場： HRDファインアート
（京都市上京区上御霊豎町494-1）
- 会 期： 2022年 6月23日（木）～ 8月6日（土）
- 時 間： 木曜日 11:00～15:00
金・土曜日 11:00～19:00
- 休 廊： 日～水曜日（事前のアポイントにより観覧可能）

【展覧会概要】

HRDファインアートでは、6月23日から8月6日までの会期で田中加織の個展「流れ／その先に」を開催します。京都出身、現在も京都在住の田中の、HRDファインアートでは初の個展となります。

田中加織は1982年生まれ。成安造形大学洋画科研究生修了。禅寺の庭園や富士山、伝統的な山水画などの象徴的なモチーフを取り入れた、幻想的な風景絵画を一貫して制作しています。ピンクやグリーン、ブルーなど、蛍光色やパステル調を想起させるポップな色彩とやわらかな曲線によって描き出される庭園や霊山の風景は、一見、幸福感に満ちた穏やかな理想郷のように見えますが、現実感から乖離したその描写は流動的で不安定な世界の精神性を象徴しているかのようにも感じられ、そこはかたない不穏さも湛えています。

本展では、これまで継続して取り組んでいる「山水」の世界に加えて、陶磁器の「赤絵付け」からインスピレーションを受けた新たなシリーズの作品も展示されます。

現代の日本における「東洋的」な思考・思想の意味を問い直しながら、自然との関わりの中に垣間見える人間の意識を捉え表現しようと試みる田中加織の作品を、ぜひご高覧ください。

【アーティストからのメッセージ】

富士、山水、日本庭園などの人工的自然物をモチーフとし、景色や空間のとらえ方、またその中で見え隠れする現実と虚構の狭間を描くことにより、人の意識の形を浮き上がらせようとしています。

生活や環境、時代、価値観は、意識的に変えていくこともあれば、様々な環境によって変わらざるを得ない状況に迫られることもあります。立ち止まって思考したとしても、足元を流れるそれらの日々は過ぎ去って行きます。山水を題材とした作品を通して、この先の世界がどう流れていくのかを見つめて行きたいと思います。

今回の展示では、新作、旧作と、新たに赤絵をモチーフとした絵画作品も展示いたします。

田中加織

【展示作品・参考作品】



月山水雲海図 No.2022.5

油彩／キャンバス、木製パネル 100×196cm 2022年



赤絵富士 No.2021.4

油彩／キャンバス、木製パネル 23×23cm 2021年



光月山水 No.2021.9

油彩／キャンバス、木製パネル 45×45cm 2021年

【作家略歴】

田中 加織

Kaori TANAKA

- 1982 京都生まれ
2004 成安造形大学洋画科卒業
2005 成安造形大学洋画科研究生修了
現在、京都在住

主な個展

- 2006 「蓬莱」 アートスペース虹 (京都)
2008 「秘すれば花なり」 ギャラリーアートコンポジション (東京)
O ギャラリーeyes (大阪)
2009 東京上野松坂屋 (東京)
札幌三越 (札幌)
2012 「光月山」 HRD ファインアート (DEMADO PROJECT) (京都)
2013 「石浮島」 KUNST ARZT (京都)
「庭島」 gallery near (京都)
2014 「月山水ナガルル」 コンテンポラリーアートギャラリーZone (大阪)
2015 「月山水ナガルル」 ギャラリーいのくま亭 (京都)
2016 「落下する砂と石」 ギャラリーいのくま亭 (京都)
2019 「月山水ナガルル」 伊勢丹新宿本店 6 階アートギャラリー (東京)
2021 「月と山水」 Art Spot Korin (京都)

主なグループ展

- 2003 「Art Camp in CASO」 海岸ギャラリーCASO (大阪)
2006 「Art Camp in kunst bau」 ギャラリーヤマグチ (大阪)
2008 「思考と絵画」 ギャラリーワークス (大阪)
「セオリーアート賞展」 セオリー青山本店 (東京)
「アーティクル賞展」 AJC オークション (東京)
2009 「トーキョーワンダーウォール」 東京都現代美術館 (東京)
2010 「京展」 京都市美術館 (京都)
「思考と絵画 2」 ギャラリーワークス (大阪)
2011 「萬福寺芸術祭」 萬福寺 (京都)
「カレント展」 京都市美術館別館 (京都) (2012、14 も)
「アートオークション story」 関西日仏会館 (京都)
「オープンアトリエウオーク 京都アペルト」 (京都)
2012 「TRANSNATIONAL ART」 大阪現代美術センター (大阪)
「ギャラリーwks10 周年祭」 ギャラリーワークス (大阪)
「ABEND」 Gallery Ort Project (京都)
「京都オープンスタジオ」 (京都) (2013 も)

- 「若手四人作家展」 松山三越 (松山)
- 2013 「Common Sense of the East」 Gallery 175 (ソウル)
 「ART ROAD 77」ヘイリ芸術村 (韓国パジュ)
 「TAKE OUT ART!」 gallery near (京都) (2014 も)
 「ABEND vol.2」 京都市サーチパーク町家スタジオ (京都)
 「空想美術大賞展」 伊藤忠青山アートスクエア (東京) / 蔵丘洞 (京都)
 「tokonoma 展」 gallery near (京都)
 「箕面の森アートウォーク」 (大阪)
- 2014 「ヤングクリエイターズアワード」 MI ギャラリー (大阪)
 「天祭一〇八」 増上寺 (東京)
 「えんぎもの」 白白庵 (東京)
 「Nature Explored: Interpretation of Japanese Landscape」 日本友好庭園 (サンディエゴ)
 「京都府美術工芸新鋭展」 京都府文化博物館 (京都)
- 2015 「感じる風景」 橘画廊 (大阪)
 「高尾小フェス」 南山城村・旧高尾小学校 (京都)
 「VIVID 展」 ギャラリーアートコンポジション (東京)
- 2016 「Dancing in September」 橘画廊 (東京)
- 2017 「ギャラリーwks15 周年祭」 ギャラリーワークス (大阪)
 「さかずき」 Art Spot Korin (京都)
 「MINA-TO Art Wall Vol.8 WONDERS vol.2 Greenscape」 スパイラル MINA-TO (東京)
 「間取りの時」 京旅籠むげん (京都)
 「若き表現者のためのコレクション展」 ギャラリー菊 (大阪)
- 2020 「NIPPON 発! 現代アート展」 銀座三越 7F ギャラリー (東京)
- 2021 「精神の風景・〇▲□」 HRD ファインアート (京都)
- 2022 「第 49 回現代美術 - 茨木 2022 展 メタ//コンセプチュアル」 茨木市立生涯学習センター (大阪)

受賞

- 2004 「成安造形大学卒業制作展」 優秀賞
- 2008 「セオリーアート賞」 銀賞
- 2013 「空想美術大賞展」 日本電算株式会社賞

【感染対策について】

HRD ファインアートでは、展示プログラムの再開にあたり、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大防止対応として、以下の措置を導入・実施いたします。

① オープニングレセプションの中止

従来、展覧会初日にアーティストを囲んでオープニングレセプションを開催してきましたが、当面の間これをすべて中止します。

② 検温・不織布マスク着用・手指消毒の徹底

ご来場の方は、事前（当日）に検温をお願いいたします（会場で非接触式体温計による検温をお願いする場合があります）。37.5℃以上の熱のある方や咳等の呼吸器症状のある方はご来場をお断りします。また、来場時は不織布マスクまたは同等以上の感染防止性能を持つマスクの着用をお願いします（ウレタンマスク、布マスク、ガーゼマスクでご来場の方には未使用の不織布マスクをお渡ししますので、そちらを着用してください）。健康上の理由等によりマスクを着用することができない場合は、事前にお申し出ください。また、ギャラリー入口に設置する手指消毒用のアルコールでの手指消毒をお願いします。

③ 来場人数制限の実施

ギャラリー内の混雑を避けるため、来場人数の制限を設け、ギャラリーへの入場をお待ちいただく場合があります。

④ 臨時休業・完全アポイント制への移行の可能性

新型コロナウイルスの感染拡大を見極め、状況に応じてギャラリーを臨時に休業、または事前アポイントによる完全予約制とさせていただきます可能性もあります。こうした場合は、ギャラリーのウェブサイト www.hrdfineart.com や SNS のチャンネルを通じて、なるべく早い段階で告知を行います。

お問い合わせ：HRD FINE ART（エイチアールディー・ファインアート）

住所：〒602-0896 京都市上京区上御霊壱町494-1
 電話：090-9015-6087（担当：原田）
 ウェブ：<http://www.hrdfineart.com>
 Eメール info@hrdfineart.com

